

# きぼう

2000年10月1日 季刊 第22号

かしの木

事務局 〒494-0018 尾西市富田字砂原 2147 番地

E-mail アドレス: [kasisato@f7.dion.ne.jp](mailto:kasisato@f7.dion.ne.jp)

TEL: 0586-63-2111

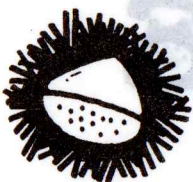
編集責任者: 広報・研修委員会

## 檜の木 20 周年記念フェスティバルを開催します

今年、昭和56年に檜の木が発足してから20周年目になります。私どもの長年の夢であった生活施設かしの木の里は、地域の皆様のお力添えから、この4月に開所できました。檜の木のこれからは、ハンディを持つ人が施設の中だけでなく地域のなかで暮らせるようにしていきたい。そのためには地域の皆さんにかしの木を知っていただきたいということから、まずお知らせしていく取り組みを大切にしていこうと決めました。

かしの木の会はこれまで会の中での活動がほとんどであったことから、これからは地域へ広げていこうと夢をひろげました。ハンディがあろうとなかろうと地域で普通に暮らして行けたら…。地域への活動は不慣れなことから右往左往することとしますので何かとお力添えをいただければと思っております。さて、来る11月5日(日)に「檜の木20周年記念フェスティバル」を開催することになりました。模擬店・ステージショー・ゲームなど盛り沢山の企画で準備を進めています。スポンサー、出店、ボランティアさんの大募集です。ご参加の程よろしく申し上げます。

(檜の木フェスティバル実行委員)



檜の木フェスティバル実行委員会の光景

# 檜の木20周年記念

# フェスティバル案内

期日：平成12年11月5日(日)

場所：富田山グランド(尾西グリーンプラザ北)

時間：午前10時～午後2時(小雨決行)

主催：社会福祉法人 檜の木福祉会 かしの木の会

後援：尾西市社会福祉協議会 尾西市ボランティア連絡会

## ☆ フェスティバルに期待していること

このフェスティバルが地域のたくさんの人との出会い・ふれあいの場になればと思っています。日曜日の開催ですので、小中学生のお子さんやお父さんお母さんもおかあさんも一緒に立ち寄って頂けたらと期待しております。

一日ボランティアさん、また出店して参加してみようというお店や企業団体を受け付けております。下記事務局までご連絡下さい。

では、会場でお会いしましょう。この日、チョッピリ楽しくってあったかいものが胸の中に芽吹いたらいいだろうなあ…★

## 檜の木20周年記念フェスティバル事務局

檜の木作業所 〒494-0018 尾西市富田字漆畑16番地



TEL 0586-61-6055



☆ フェスティバルの内容紹介

模擬店・バザー：おでん、みたらし団子、うどん、わた菓子、肉まん、喫茶、



ステージ：マジックショー、太鼓演奏、人形劇

ゲーム：ストラックアウト

大抽選会：景品が多数あたる

展示：檜の木の歩み

☆ バザー用品提供のお願い

檜の木フェスティバルの成功に向けてバザー用品の提供を地域の皆さんにご協力願えないでしょうか。

お願いしたい物：手作り品、家庭用品(タオル、シーツ、鍋、食器類など)、



衣料品(新品又は着古してない物)、靴、カバン、本など。

お持ち込み先：かしの木の里 (TEL 0586-63-2111)

受付期間：10月10日～10月25日まで



ご協力よろしく申し上げます



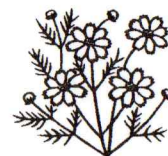
## かしの木の里・短期介護事業(ショートステイ)が

### 7月よりスタートしました。

この事業は、障害を持つ人たちの保護者が、病気やその他の理由で、家庭での生活が困難になった時や、障害を持つ人たちの生活訓練等を理由に、一時的に施設での生活を送ることができる制度のことを言います。

もともとこの事業は、『重い障害を持つ人の介護ができないなど「止むを得ない理由」の場合のみ、入所施設等で保護者に代わって保護する』というもので、保護者や家族が、ぎりぎりまで頑張っ、どうにもならなくなった時、初めて利用するものといった状況で、利用する人の多くは、初めての場所や人に慣れるまでに時間がかかり、それまでの生活と全く違った生活に突然送り込まれ、大変な苦痛を経験せざるを得ないというのが実態で、障害のある人や、その家族が望む内容とはほど遠い内容の制度でした。現在でも、ショートステイは、生活施設の機能の一部を共有していることや、手続きや委託費の問題など多くの問題を残してはいるものの、レスパイトや地域支援サービス等の考え方の広がりから、かなり弾力的に、利用しやすくなっており、生活学習や、親離れ子離れの体験、在宅者のデイサービス的な利用など、それぞれのご家庭の状況やニーズに応じて利用することが出来るようになっていきます。

かしの木の里のショートステイが、地域の中にある、障害を持つ人たちの「生活を支える一部」としてしっかりと機能する為には、まだまだ力不足の感は否めませんが、少なくともこの地域を誰もが安心して、生活できる社会に近づけていくためには、欠かすことの出来ないもので、しかも、このことをステップに、さらに充実した地域支援の形を考えていかなければならないものであると考えています。



## 火の玉(人魂)を見たか

尾西市社会福祉協議会 事務局長 太田 欽也

シトシトと雨の降る夜は、青白い火の玉がでる。真っ暗な闇の中にポオッとかすむ火の光だった。火の玉を見た人は、皆、驚き逃げ帰った。中には、布団を頭から被って、ブルブル震えている者もいた。

最近テレビで放映している三面番組の嘘っぱちな怪奇現象ではない。れっきとした尾西市の伝説だが、中には尾西市生まれの人でも聞いたことがないという。そんな伝説をもとに平成12年11月26日に、「与三の火」が市民会館で演じられる予定だ。

濃尾大橋のもと、金毘羅神社の裏手に「人柱観音」が建立されている。これが話題の与光観音である。いまから400年ほど前の話だ。丁度観音の建っている辺りに木曾川の支流で小信川が流れていた。治水のため小信川を堰き止めることになったのが、難工事のために堰き止められなかった。龍神をなだめればというので、与三が人柱になったという。大正時代の耕地整理までは火の玉が出たというので、お宮に参拝にくる老人に尋ねてみたことがある。すでに20年ほど前だが、偶然にも見たことがあるとはっきり証言した人があった。

人柱観音の位置は、お盆に開催される花火大会の本部あたりだ。この本部から木曾川を眺めると、岸近くに藪が戦場に連なっている。いわゆる秀吉堤といわれているものだ。そこからわずかに300mの南に、船橋跡がある。船橋は象が通ったとか……。

忘れ去った伝説であるが、伝説をたどると意外な歴史に出会うことになる。尾西市に住んでいる人は意外と自分の住む故郷を誇りに思っていないが、歴史を知ればこの土地に誇りを持つことができる。この土地に愛着を持つことができる。そこから、街づくりの出発になると思うのだが、そんなわけで11月26日の観劇を紹介させて頂いた。



## 第9回 びさい福祉フェスティバルに参加しよう

平成12年11月19日(日)に、恒例のびさい福祉フェスティバルが開催されます。尾西市における福祉に関わる機関や団体が総出のイベントです。市民会館ホールにて、27の機関や団体のコーナーが設けられ、それぞれの活動や取り組みの紹介、展示、相談、実演、体験、販売等が行われます。年々参加者は増えているそうですが、もっと大勢の参加が期待されています。市民の皆さんにはたとえ1時間ほどでも足を運んで頂ければと願っています。そして、ハンディをもつ当事者や家族の方も積極的に参加して頂ければと思っています。檜の木福祉会とかしの木の会のコーナーでは、檜の木作業所、檜の木園、かしの木の里の3つの施設の紹介を行います。利用者が作業で作った作品の販売も行います。押し花のキーホルダーや木工作品の壁飾り、手芸品のクリスマス飾りなどは、小中学生の皆さんにも人気の作品です。また、陶芸の小皿や、動物をかたどった飾りも好評です。花の苗も販売致します。作業時間に精一杯頑張ってつくりました。まだまだ至らぬ所もありますが、商品として負けないものを目指しております。是非、手にして感想を頂ければ有難いと思っています。尚、これらの作品はかしの木の里などの施設でも日頃より販売しておりますので、お立ち寄り頂ければと思っています。びさい福祉フェスティバルでは、市役所西駐車場にて模擬店が行われます。市民の皆さん、児童生徒の皆さん、是非びさい福祉フェスティバルに遊び、学びに来て下さい。

それでは、尾西の福祉はどうなっているのでしょうか？

(かしの木の会広報研修委員)



陶芸、小皿の製作に励む かしの木の里の人たち

## この笑顔、楽しかった檜の木盆踊り大会

去る8月10日、檜の木盆踊り大会が開かれました。今年は、檜の木作業所と檜の木園の通所している利用者にかしの木の里の50名の入所している利用者が加わりました。施設を就職等で退所した人や学齢児で施設実習を経験した人などの参加も年々増えています。スタッフでは、尾西市社会福祉協議会からのボランティアさん65名に地元富田の子供会や役員会のみなさん、あかつき富美寿会の踊りの会や三条コミュニティいぶき太鼓の皆さんなど総勢130名程のボランティア関係の応援を得ることが出来ました。会場は日が落ちると人であふれ、浴衣やハンテンで彩りを増していきました。ところで、太鼓演奏は、昼間にかしの木の里の食堂で行って頂き、大きな振動による迫力に強く魅せられました。里の利用者の皆さんも太いバチをにぎって太鼓を打てたことから笑顔がいっぱいでした。「8月10日は檜の木さんの盆踊り大会」というのは地元の皆さんの知るところです。焼きとうもろこしや金魚すくいや綿菓子等数々の模擬店は地元の子供たちにも好評で、また打ち上げ花火も楽しみのひとつになっております。ふたば作業所さんやコスモスさんなど近隣の福祉施設によるバザーの参加も得ております。昔ながらの盆踊り大会を通じて夏の宵をこんなに大勢のいろんな方と楽しく過ごせたことをありがたく思っております。そしてこのふれあいを大切に育てて行きたいと思っております。



盆踊り大会で太鼓を叩く参加者

# 檜の木作業所 スタッフ紹介



第4作業室  
山本たか子



第5作業室  
関高恵



事務  
春日井宏幸



第3作業室  
小木曾雪子



第4作業室  
山田弘子



施設長  
橋本昭一



調理員  
築瀬みよ



調理員  
竹内イツ子



第5作業室  
犬川哲弥



第3作業室  
野村栄子



第4作業室  
河本章宏



第3作業室  
下村成人



# 文芸コーナー

一里塚住古を偲ぶ蝉時雨

竹中 美代子

カフェテラス日陰になりし葛かづら

朝顔の小さきになりて秋に入る

「暑いなも」文す挨拶処暑過ぐ



「盆踊り」

小木曾 雪子

檜の木の浴衣に着替えて乙女らは

うれし恥ずかし今宵盆踊り

巡らせし提灯のもと夏の夜の

踊り続けり太鼓も響きて

賑わいし模擬店親やボランティア

地域の人らの協力ありて

宴果てて後片付けに職員は

黙して励む深夜に及びて



内里の木のJカ 018-494-0018 018-494-0018 018-494-0018

Tel 0586-63-5111 Fax 0586-61-1500

0208-18-8820 Tel 0586-61-8025

0208-63-8205 Tel 0586-63-8205

0115-63-8820 Tel 0586-63-5111

# お知らせコーナー

秋、文化・スポーツ・祭典・・・盛り沢山 Let'Go!



- 10月 7日(土) そぶえ産業まつり/祖父江町総合センター
- 10月 8日(火) かしの季運動会/富田山グラウンド
- 10月12日(木) 手芸製作会/尾西市文化会館
- 10月21日(土) びさい祭り
- 10月22日(日) びさい祭り
- 10月24日(火) 手芸製作会/南部公民館

- 11月 5日(日) 檜の木 20周年記念フェスティバル  
/富田山グラウンド・かしの木の里
- 11月14日(火) 手芸製作会/南部公民館
- 11月19日(日) 第九回びさい福祉フェスティバル  
/尾西市民会館
- 11月21日(火) 手芸製作会/南部公民館
- 11月26日(日) 公演『与三の火』/尾西市民会館

※ 手芸製作会(かしの木の会 主催)は、いずれも 9:30~15:00です。

## 《発行》

### かしの木

かしの木の会 事務局 〒494-0018 愛知県尾西市富田字砂原 2147 番地 かしの木の里内  
Tel 0586-63-2111 Fax 0586-61-1200

檜の木福祉会 ☆檜の木作業所 尾西市富田字漆畑 16 番地 Tel 0586-61-6055  
 ☆檜の木園 尾西市富田字若宮 17 番地 Tel 0586-62-8202  
 ☆かしの木の里 尾西市富田字砂原2147番地 Tel 0586-63-2111